

## NEWS RELEASE

平成 21 年 3 月 9 日

市光工業株式会社

ICK901

### 市光工業株式会社 生産体制の再構築を中心とする経営体質強化について

～国内の各製造拠点の集約と早期退職希望者募集など  
組織のスリム化による収益率向上を目指す～

大手自動車部品メーカーの市光工業株式会社（本社：品川区東五反田、代表取締役社長：市川 侑男、以下市光工業）は、取締役会において、市光工業および市光工業グループ（以下グループ会社）国内の各製造拠点の集約と早期退職希望者募集による組織のスリム化を行い、経営体質の強化を図ることを決定しました。

世界的な景気悪化の影響を受け、自動車業界においては、輸出向けを中心に国内自動車生産の減少が続き、今後も自動車メーカー各社で一時休業による生産調整が引き続き行なわれるなど、厳しい状況が予測されています。こうした中、市光工業では、同社およびグループ会社の収益性を確保するための体制を整備すべく、グループ全体での最適生産に向けた取り組みを行います。その一環として、国内各地に分散している各製造所を集約し、より効率的な生産体制を構築するため、連結子会社である九州市光工業株式会社にヘッドランプ新工場を増設し、月 14 万個の生産体制を構築します。さらに、大泉製造所（群馬県）にヘッドランプ用レンズ生産ラインを新設し、月 10 万個の生産体制の整備構築に加え、藤岡製造所（群馬県）へのリアコンビネーションランプ生産の集約を図り、月 30 万個の生産体制を構築します。なお、製造所の集約により、2009 年 9 月末までに中津川製造所（岐阜県）、2010 年 2 月末までに伊勢原製造所（神奈川県）の操業を順次停止します。

また、生産拠点の集約に伴う人事異動および減員による組織のスリム化のため、早期退職希望者募集などにより約 730 名の人員削減を実施します。

(参考)

「市光工業とは」

市光工業株式会社（以下、市光工業）は、1903年創業以来、自動車用ランプとミラーの純正専門メーカーとして、トヨタや日産をはじめとする国内すべての自動車メーカー及び、GM やダイムラー・クライスラーなどの海外主要自動車メーカーに製品を納入してきました。その歴史は長く、1932年には初代ダットサン（日産）へランプを装着し、日本発のプロジェクターヘッドランプや世界初の電動格納ミラー、また、次世代の光源として注目されている LED ヘッドランプなど独自の製品開発を主体的に行ってきました。これらの製品開発により、今日では国内において、自動車用ランプで21%、ミラーで27%といった大きなシェアを誇っています（2007年実績）。

<本件に関するお問い合わせ先>

一般の方からの問合せ先

市光工業株式会社  
広報担当 金子／日置  
TEL：03-3443-7211

報道関係からの問合せ先

市光工業株式会社  
広報担当 金子  
TEL：03-3443-7211

(株)VAインターナショナル

田中／亀有  
TEL：03-3499-0016  
FAX：03-3499-0017